



2019・3・21 第333号  
101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303  
TEL 03-3221-5075  
FAX 03-3221-5076

## 地方自治体も巻き込んで軍事優先の国づくり

### 自民党が改憲と軍拡を公約

一斉地方選を前に自民党は「日本の明日を切り拓く」と題する2019年版政策を発表しました。その5番目は「国の基盤強化、国益を守り抜きます」で、ここであらためて改憲への決意を表明しています。

そこではまず第1に「時代の転換期にある今、改めて国民世論を喚起し、新しい時代に即した憲法の改正に向けて、取組みをさらに強めます」としています。

さらに、「揺るぎない防衛力」の項を設け、「新たな防衛大綱・中期防のもと、現実に真正面から向き合った防衛態勢の構築に向け、必要かつ十分な予算を確保し、防衛力を大幅に強化します」「日米同盟の強化を通じたわが国の抑止力・対処力の向上、同盟国・友好国との防衛協力を推進します」としています。

すでに辺野古米軍新基地建設や自衛隊員募集事務への協力おしつけなど、地方自治体をも巻き込んだ軍事増強がすすんでおり、それらへの国民の抵抗をかわすためには自衛隊を憲法上も公認する必要にますます迫られているためとみることができます。

地方選、参院選で自民党を徹底して少数派に追い込み安倍内閣を退陣させましょう。

### 東海道53次宣伝に各地が呼応

【静岡県三島市／函南九条の会、三島アクション】 「マスコミ九条の会」が呼びかけた改憲発議を許さない東海道53次いっせいアピール宣伝が9日、静岡県内でもとりくまれました。

江戸日本橋から数えて11番目の三島宿だった三島市三嶋大社前で、共同代表の加土井六郎、浅羽愛の両氏ら安倍9条改憲No.！三島アクション、函南九条の会両団体のメンバー約50人が参加。「戦争する国ゴメン、政治を変えよう！」と書かれた横断幕を持ちスタンディングアピール。

参加した猪瀬久美子さん(67)は「憲法を理解していない安倍政権を、市民と野党の共闘の選挙で倒し、民主主義を取り戻したい」と話していました。

<箱根九条の会> まっ白な富士山を見ながら横断幕を掲げて、車窓の人やそぞろ歩きの人に、また外人にもビラをまいたり3000万人署名を訴えました。9人が参加しました。(箱根九条の会「はばたき」119号)

**【三重県四日市市／九条の会・よっかいち】** 三重県でも9日、「東海道53次アピール」行動に4カ所で取り組みました。

四日市市では、九条の会・よっかいちと戦争させない・憲法壊すな！四日市市民ネットが呼びかけて16人が参加しました。

「市民ネット」の大野章共同代表らが「市民と野党の共闘で安倍政治にさようならしよう」と訴えました。

立止まって聞いていた男性（70）は「安倍首相は戦争する国に変えたがっているので、辞めてもらいたい。モリ・カケ問題もうやむやになっている」と語りました。

## 野党候補共同で地方選勝利訴え

### 【新潟市西区／市民アクション@西区】

11日朝、統一地方選で自民党を少数派に追い込もうと「市民アクション@西区」が街頭スタンディングに取り組みました。

共同代表の近藤正道さん（社民党・元参院議員）が「安倍政権の9条改憲を許さないという立場で党派を超えて共同してきた」と指摘。県議選（定数3）でたけだ勝利（共産）、市議選（定数10）で平あや子（共産）、中山均（緑）、石附幸子（無）、加藤大弥（立民）の5候補全員当選で安倍9条改憲の野望を葬りさろうと訴えました。

たけだ候補は、「東電は柏崎刈羽原発の再稼働を狙っている。共同の力で押し上げていただき、再稼働をストップさせ、原発ゼロの新潟県を」と訴えました。

中山候補は、原発事故で日本社会のあり方、経済のあり方が問われていると指摘。

「全員当選で、自民党政治に代わる新しい社会をつくりましょう」と訴えました。

石附候補は、一人ひとりが大切にされる社会の実現を訴えてきたとして、「5人全員の当選で、平和な日本、原発のない日本を実現しましょう」と訴えました。

## 若者への呼びかけに積極的反応

### 【神奈川県海老名市／えびな・九条の会】

えびな・九条の会は9日、海老名駅東口自由通路で、安倍9条改憲NO！3000万人署名・宣伝行動を行いました。

宣伝には5人が参加。「若者を強制的に戦場に動員する9条改憲は絶対に許せない」との呼びかけに、若者らがすすんで署名に応じました。綾瀬市の男子中学生4人組は、自衛官募集と改憲を結びつけた首相発言について、「やっば、こわいよ」とそろって署名。3歳の男の子を抱いた秦野市の男性（27）も「この子がおとなになるまでに、世界から戦争をなくしたい」と述べて署名に応じました。横浜市の女性（38）は「安倍さん、だいきらい」と怒りを込めてペンを走らせました。

この日街頭での宣伝行動に初めて参加した女性は「『憲法9条を守る署名です』と声を出して訴えるのはいい」と話しました。

## 9条生かし世界平和に貢献を

### 【和歌山県／市民アクション等】

「安倍9条改憲No！3000万署名和歌山市民アクション」と「憲法九条を守るわかやま県民の会」は9日、JR和歌山駅前で3000万人署名「署名大行動」を実施しました。

行動ではうたごえ9条の会が演奏。戦前、戦意高揚に利用された紙芝居を平和の使者にと活動する和歌山紙芝居研究会の池田光

子さんが和歌山市出身の絵本・紙芝居作家、まっいのりこさんの「みんなでぼん！」を上演しました。参加者らは、安倍晋三首相が憲法に自衛隊を書き込み、大手を振って戦争に参加する戦争する国づくりをすすめていることを批判。改憲ではなく、憲法を守り生かし、世界の平和に貢献することを訴え、署名への協力をよびかけました。

## 新成人に9条のシール投票

【岡山県津山市／津山九条の会】 津山九条の会は発足から14年にわたり毎年成人式の会場前で憲法九条アピールのためシール投票を実施しています。

今年も13日、総がかり実行委員会、津山九条の会などから50名程の参加で、サイレントスタンディングと合わせ行動しました。

津山市の新成人は1000名を超えます。思い思いの晴着やスーツ姿の参加者に「憲法九条のシール投票をして」と訴えると、「えっ」と、戸惑いながらも、「平和でないといけん」と九条を変えないに投票。時折変えるべきに投票する若者もいます。結果は『変えない』150票『変える』7票でした。

小学校6年で初めて憲法の3原則である国民主権・平和主義・基本的人権の尊重を学び、その後の学校教育でさらに深く学び続けた結果の証明かと思いました。

気になることは、投票をかたくなに断る成人者が少なくない事です。スマホ片手に私たちの呼び掛けを無視して通り過ぎる姿に、不安がよぎります。この若者たちをはじめ、未来に生きる人々が紛争や戦争に巻き込まれないことを願わないではいられませんでした。（「津山九条の会」79号）

## 宗教者の立場で軍事化を考える

【宗教者九条の輪】 さまざまな宗派の宗教者が参加する宗教者九条の輪が9日、沖縄県・宮古詣ですすむ陸上自衛隊ミサイル基地建設問題と憲法9条を考える講演会を東京都内で開き、90人が参加しました。

主催者あいさつで、平和を実現するキリスト者ネット事務局の鈴木玲子さんが、「これまでほとんど報道されないなか宮古島への自衛隊基地建設が進んでいます。いま宗教者として何を発言し行動すべきか真剣に考えなければ、戦争と軍国主義への道を進んでしまいます」とのべました。

日本キリスト教団宮古島伝道所牧師の坂口聖子さんが講演で、宮古島の現状を報告。宮古島では、陸上自衛隊のミサイル基地建設が17年11月から強行されています。攻撃性の高いミサイル基地の配備であること、地下水汚染など自然・生活破壊の危険性があること、違法工事の可能性などから住民の強い反対運動が続いています。坂口さんは「辺野古や高江の問題のかげで、小さな島々でもこうした問題が起こっていることをぜひ知ってほしい」と訴えました。

坂口さんとの対談で日蓮宗僧侶の小野文瑠さんは「宮古島の自衛隊は、安倍晋三首相の9条改憲を先取りしているのではないかと感じました」と発言。会場から、金光教非戦・平和ネット世話人の浅野善雄さんが「今日の話仲間を広げサポートしていきたい」とのべました。

## 象徴天皇制を科学的に検証

【九条科学者の会】 九条科学者の会は

9日、東京・文京区で発足14年を記念してつどいを開きました。憲法と象徴天皇制をテーマに120人が参加しました。

河西秀哉名古屋大学准教授（歴史学）が象徴天皇と公的行為をめぐる講演。象徴天皇とは何か曖昧な中で、この間、憲法に書かれた国事行為以外の公的行為が拡大してきたことの意味やメディアの果たした役割を論じました。天皇の被災地訪問などはメディアにも乗りやすいが、国民は立ち止まって公的行為のあり方、象徴とは何かを考えるべきだと提起しました。

斉藤小百合恵泉女学園大学教授（憲法学）は、憲法の柱である個人の尊重と世襲を柱とする天皇制とは本質的に矛盾すると指摘。憲法に規定された「国政に関する権能を有しない」を徹底すべきだとのべました。

## 九条の会アピールを活用し

【大阪府豊能町／豊能九条の会】 「九条の会」アピール、豊能九条の会ニュースで活用させていただきました。

このニュースは会員に届けると同時に、早朝駅頭宣伝や行楽帰りの人に3000万人署名のお願いと共に手渡しています。

豊能町には能勢電鉄の駅が3つあります。3月11日の光風台の宣伝では6時30分から8時で250枚を手渡すことができました。3月19日はときわ台駅、28日には妙見口駅で宣伝、3月24日は妙見口駅で行楽帰りの人への署名・宣伝を計画しています。

成人の日に行いました宣伝行動のピラを同封します。8割ほどの成人が受け取ってくれました。

豊能九条の会のシンボルは「モリアオガ

エル」です。モリアオガエルをデザインしたティッシュを宣伝の時ニュースにそえてくばっています。（遠藤富雄）

## 「憲法カフェ」を終えて

【群馬県桐生市／桐生・みどり地区女性九条の会】 大寒の入りの1月20日（日）寒いなか憲法カフェが実施されました。

ほかに重要な行事と重なり、また初めて利用する会場でしたので、参加者の把握が困難でした。主催者として開会するまでは落ち着きませんでした。私は玄関で会場案内をしていましたが、久しぶりにお会いできた方、初めてお会いする方々をお迎えして心配が稀有だったと安堵しました。

また、午後の短い時間の会でお茶を飲む人がいるのだろうか？ 接待をして皆さんに手配りする必要があるのかな？ など話し合いをしてきました。しかし開会前には仲間同士の会話や茶菓を楽しみながら和やかなまた活気に満ちた会場になり、村越弁護士の期待の大きさが伝わってきました。

憲法問題での豊かな知識とそれをわかりやすくお話してくださると各地で大活躍され引っぱりだこといわれる村越芳美弁護士の「憲法カフェ」は、噂にたがわず、情熱的な2時間があったという間に過ぎました。

今回「憲法を守る女性の会」の活動として計画しました。これまで「桐生・みどり地区女性九条の会」として講演会や映画会を実施してきましたが、女性団体が手を結び活動した経験をさらに今後の活動にいかして行きたいと思っています。（高清水昭子「女性九条の会だより」NO100）